

令和8年3月11日

目黒区教育委員会教育長 宛て

目黒区立碑小学校  
校長 大塚 晋一

令和7年度 目黒区立碑小学校 学校評価報告書

1 学校評価委員会の実施内容

- (1) 第1回実施日時 令和7年5月31日(土) 午後1時30分～午後2時30分  
(・運動会の参観 午前8時35分～12時30分)  
・学校経営方針の説明  
・質疑応答、意見交換・
- (2) 第2回実施日時 令和7年10月25日(土) 午前11時45分～午後0時25分  
(・公開授業「道徳授業地区公開講座」 午前11時～午前11時40分)  
・本校の教育活動について  
・質疑応答・意見交換
- (3) 第3回実施日時 令和8年2月14日(土) 午前11時20分～午後0時30分  
(・公開授業「碑フェスタ」 午前9時00分～午前11時20分)  
・四者による学校評価アンケートの結果について  
・令和7・8年度の教育活動についての意見交換・質疑応答

2 参加者

学校評議員 松本 保枝 様 鈴木 大二 様 畠山 桂子 様  
熊木 智香子 様 小幡 健太郎 様  
PTA会長 木村 大介 様

3 評価の結果等

※四者…児童・生徒、保護者、地域の方、教職員のこと。

評価項目	◎(成果)、●(課題)、 ◎(成果と課題の両者を含む)	次年度の教育活動の改善点	学校評価委員会での意見
<b>I 学校全体について</b> ・学校の雰囲気、学習環境、教職員の態度などについて、家庭・地域との連携、地域人材の活用などについて	◎学校の雰囲気について保護者・地域ともに肯定的評価が93%以上であり、学校教育全体への評価は概ね良好である。様々な行事において、学校ホームページで学校生活の様子をこまめに発信していたことが要因と捉えている。一方、昨年度に比べ2ポイントマイナスとなっている。一	・保護者の肯定的評価がより向上することを目指し、安定した学校・学級経営となるよう、授業内容の充実、安定した友達関係の構築、行事の工夫等を行う。	・いつ来校しても、とてもよい雰囲気、子どもたちだけでなく教職員も楽しそうである。学校の雰囲気は管理職がつくるもの。引き続き、皆が楽しく通える学校づくりを推進してほしい。 ・全体として穏やかであると感じる。また、子どもたちの生き生きとした活気のある姿が保護者と共有できている

	<p>部の学級で学習環境が不安定になったことが起因しているものとする。安定した学級経営となるよう一層努めていく必要がある。</p> <p>◎学校の雰囲気について、児童の肯定的評価の割合が低学年では 4.5 ポイント、高学年では 6.6 ポイント上昇した。</p> <p>◎教職員の対応について、保護者の肯定的評価が昨年度に比べ 8.7 ポイント上昇した。</p>		<p>のだと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な行事において、子どもたちが楽しそうに活動していて、良い学校運営をされていることが分かる。</li> </ul>
<p><b>II 教育目標について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標、時程、教育内容全体について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●昨年度と比較して、保護者の肯定的評価が 1 ポイント減少している。誤差の範囲と考えるが、中には教育目標を知らないから評価できないとの意見があるため、保護者会や学校だより等でより一層周知していくことが必要だと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を一層具現化し、各分掌でできることを考え、実行していく。</li> <li>・引き続き、本校の教育活動を保護者・地域に理解していただくために、学校だより・学年だより等で学校生活の様子を発信していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状でも学校から情報を発信して教育目標の共有化を図っていると思うが、保護者や地域がそれを受け止め、認識しているということではないのかもしれない。</li> <li>・教育目標をもっと浸透できるとよい。学校の顔として前面に押し出すと良い。</li> </ul>
<p><b>III 心の教育について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科の授業の充実や児童・生徒の道徳的実践力の向上に向けた取組について</li> </ul>	<p>◎保護者の肯定的評価が昨年度と比較して 6 ポイント近く上昇している。昨年度も一昨年度より 10 ポイント近く上昇していることから、令和 6 年度より「目黒区人権教育推進校」として実践してきた心の</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「目黒区人権教育推進校」として取り組んできた実践を元に、学習の場面に限らず学校生活全体における心の教育の充実に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権意識は養われていると思う。人権ポスターを掲示するなど人権感覚を醸成する環境を整えていることも人権意識の向上につながっていると思う。</li> <li>・様々な人の考えを聞いて自分の考えを深</li> </ul>

	教育が浸透してきたものとする。今後も、保護者と連携して心の教育を推進していく。		めていくというようなことは家庭ではできないため、道徳での学びを大切に扱い指導して欲しい。
<b>IV 学習指導等について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の定着・向上に向けた授業の改善・充実、少人数指導、チャレンジタイム、クエストタイム、主体的に学習に取り組む態度等の取組について</li> <li>・職場体験等体験活動、自然宿泊体験教室、キャリア教育等の充実について</li> </ul>	◎保護者・児童の評価は昨年度と比較して5ポイント以上上昇している。学校公開等で教員が様々な工夫をしている様子から、肯定的な意見を多くいただくことができている。高学年児童は、「40分授業」で生み出した時間で取り組んでいる探究学習（クエストタイム）の満足度が評価に反映されているものと見られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年では、「40分授業午前5時間制」で生み出した時間を基礎・基本の時間に充て、学習内容の理解・定着を一層図っていく。</li> <li>・高学年では、自己選択学習や探究学習の充実に努め、学習自体に興味・関心をもって主体的に取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クエストタイムは、子どもたちの探究心を刺激して知ることを楽しさを学ぶ場としてとても良い。</li> <li>・6年生の職業体験の取組はとても素晴らしい。現職の方々からの意見を伺う機会や自ら調べ実践してみるという活動は将来に生きる活動だと思う。</li> <li>・「40分授業」が定着して時間に使い方が上手になってきている。</li> </ul>
<b>V 体育・健康教育について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上、健康の促進に向けた取組について</li> </ul>	●保護者の評価において1ポイントの減少が見られる。昨年度10ポイント以上増加した項目であることから、誤差の範囲内と捉えるが、「碑トライ」など特色ある活動のさらなる充実を図る必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動委員会の取り組みを引き続き行い、次年度も体力向上のための活動を工夫する。</li> <li>・気温が高く外遊びができない期間が年々増えている。気温が高い時期でも安全に運動に取り組める環境を工夫していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館やくすのきホールなどの活用も含めて、子どもたちが運動できる場を増やしてほしい。</li> <li>・外で遊ぶ機会が減少している。体育の授業を通して、身体を動かすことの楽しさを感じさせてあげてほしい。</li> </ul>
<b>VI 特別活動について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の充実、異学年交流活動、クラブ・部活動の充実などについて</li> </ul>	◎保護者・児童・地域・教職員全ての対象において、肯定的評価が90%以上と、良好な評価を得ている。運動会や展覧会・学校公開の際に保護者から回収したアンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度も本校の特色の一つである「くすのき班（縦割り班）」や兄弟学年での交流を様々な場面で意図的に設定する。そのことで、高学年が低学年を慈しむ気持ちや、低学 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会も学芸会もとても素晴らしく、特別活動が充実している。</li> <li>・異学年交流の活動は、実際に交流する中で同学年の児童との交流では芽生えない感情が湧き起こり、心を </li> </ul>

	<p>ートにも、児童の様子や開催方法について好意的な声が多く寄せられている。</p>	<p>年が高学年に憧れ目標とするような学校全体のよい循環をつくっていく。</p>	<p>動かすと思うので、今後も大切にして取り組んで欲しい。</p>
<p><b>VII 学校生活全般について</b>  &lt;生活指導&gt;  ・生活規律の徹底、いじめや不登校の現状と対応、教員の関わり方、特別支援教育への取組などについて</p>	<p>◎保護者・地域・児童・教員の肯定的評価が昨年度より上昇し、85%以上という結果である。生活指導主任を中心に、問題行動については、迅速に対応し、短期的・長期的に見守っていく体制ができています。登校しぶりが見られた際、担任と養護教諭、管理職、スクールカウンセラーが密に連携を取り、解消に向けて動くことができています。</p> <p>●一方、一部不安定な学級経営に対する不安の声が届いている。見守りの強化など、学校全体として取り組んでいる対策には一定の評価を得ている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校という集団の中で、自分の苦手なものに向き合うことが難しい児童が増えてきている。スクールカウンセラーを活用して個の思いを受け止めるとともに、保護者の理解と協力を促すことが課題である。</li> <li>・教育活動全般をとおして、自分の気持ちや考えを言葉に表現できる児童の育成に取り組んでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの早期発見については、引き続き目を配り、深刻な問題に発展しないようにしてほしい。</li> <li>・様々な家庭に育ち、様々な個性のある児童と一緒に集団生活を送っているため、安定した学校生活環境を整えることは難しいと思う。今後も保護者と児童に対し、誠実に向き合っていくしてほしい。</li> <li>・不登校が増えているのは、碑小学校だけの課題ではなく、全国的な傾向である。国全体の課題として取り組んでいく必要があるのではないか。</li> <li>・離職率の高さも国の課題。努力することができる人を育てていく必要があるのではないか。</li> </ul>
<p>&lt;防災教育・安全指導&gt;  ・事故や災害に関する安全教育や情報モラル教育の充実、安全管理などについて</p>	<p>◎安全教育への取り組みについては、保護者・児童とも肯定的評価が95%前後と高い数値を示している。毎月の避難訓練にも、全児童が真剣に取り組む様子が見られている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラルについては、指導を行っているが、学校だけでは難しいのが現状である。家庭の協力を促し、全児童の意識を高めることが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との防災・避難所訓練などで連携を強化して、更にレジリエントな学校にしていきたい。</li> </ul>

<p>&lt;幼・保・小・中連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校や同じ中学校区の小学校との連携について</li> <li>・近隣の幼稚園・保育園との連携について</li> </ul>	<p>◎保護者の肯定的評価が昨年度は一昨年度と比較して20%近く上昇したものの今年度は昨年度と比べ5.6ポイント減少している。最も保護者に取り組みが見えにくい項目であるので、引き続き進んで情報発信して理解を促していく。</p> <p>◎目黒南中学校区として統合後初めての年度であったが、小・中連携子ども育成プランに基づき、「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」を実践し、その成果を校内全児童に共有することができた。</p> <p>◎1年生と近隣幼稚園・保育園との交流会や近隣保育園児が学芸会を鑑賞するなどの交流活動を行うことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は校区の中学校が統合2年目となる。今年度見えてきた課題を整理し、よりよい連携のあり方を模索していく。また、新しい形で小・中連携の取り組みの具体的な様子を、本校ホームページ等で発信していく。</li> <li>・近隣幼稚園・保育園の先生方との情報交換の場を設けるとともに交流活動の一層の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事では、目黒南中学校の生徒がボランティアとして活躍してくれているため、その背中を碑小学校の児童は見て学んでいる。学校としての取組は少ないかもしれないが、地域の行事を活用して連携を深めていくことは大切だと感じる。</li> <li>・円融寺幼稚園の行事に碑小学校の児童が多く参加している。自然な形で交流ができているのではないか。</li> <li>・円融寺幼稚園以外の就学前施設との交流をいかに広げていくかということは検討の余地がある。</li> <li>・保護者にとって目黒南中学校を進学先として意識していないことも評価に表れているのではないか。</li> </ul>
<p><b>Ⅷ 情報の発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の情報発信の充実について</li> </ul>	<p>◎保護者の肯定的評価が90%以上ある。日常の教育活動をタイムリーに学校ホームページの学校日記で発信していること、保護者宛ての通知文をHome&amp;Schoolで速やかで確実に発信していることが要因と思われる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と家庭を繋ぐアプリ「Home &amp; School」を使用している、学校からの通知文や情報の発信、欠席連絡、連絡帳機能が定着し、学校と保護者の意思疎通が速やかに、そして確実にを行うことができている。引き続き有効活用していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Home&amp;Schoolや学校ホームページを活用した発信はとても良い。</li> <li>・学校がHome&amp;Schoolでの連絡をきめ細かにしているため、開封率も高める必要があると感じる。確実にファイルを開封して見る方法があると良いと思う。</li> </ul>

<p><b>IX 教員の人材育成について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の職務をとおして専門性と協働性の育成、教育公務員の自覚について</li> </ul>	<p>◎教職員の肯定的評価が90%と高い数値を示している。今年度は主任教諭を核としたOJTにより若手教員育成の充実を図った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主幹教諭や主任教諭によるOJTをより推進し、組織的な人材育成に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても大切なことなので、引き続き人材育成に努めてほしい。</li> </ul>
<p><b>X 教員の働き方改革について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援システムの活用、「チーム学校」を意識した業務分担等、組織的な業務の効率化・最適化について</li> </ul>	<p>◎昨年度と比較して17.6ポイント上昇し、肯定的な意見は94パーセントを超えた。「チーム碑」の意識が高く、協力し、支え合いながら業務を行うことができている。業務の効率化を図る意識が高まってきている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、教職員の心身の状態に気を配っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40分授業午前5時間制により生み出された時間を学年会や会議、教材研究などの時間に充てることができたことで働き方改革が進んだ。</li> <li>・教員に余裕ができることは児童にとっても良い影響があるので継続してほしい。</li> </ul>
<p><b>XI 服務事故の防止について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・服務事故防止に向けた取組などについて</li> </ul>	<p>◎教職員の肯定的評価が3ポイント上昇し97%となった。昨年度同様高い数値を示している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服務事故防止研修など、教育公務員としての自覚を高める研修を引き続き行っていく。</li> <li>・肯定的評価をつけなかった教職員がどこに問題を感じているかを把握し、100%を目指し、取り組んでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に高い数値であり、職場の意識が高いことが伺える。様々な取組を継続して服務事故防止に努めてもらいたい。</li> </ul>